

特集 PTA広報活動

本校では、PTA新聞をもっと身近に感じてほしいということで、新聞の愛称を募集しその結果、PTA新聞「夢限」として発行しています。

「夢限」には、「夢は無制限。無限大の子どもたちの夢を周囲の大人たちみんなが実現してあげよう」という思いがこもっています。また同時にPTAキャラクターも募集



さわちゃん・ほめ太郎くん・ちびろう

小・中学校で広報の係をしたこともない私が、県PTA広報紙コンクールで最優秀賞をいただき、こうして県PTA新聞の、原稿を書くことになろうとは、想定外の出来事でした。なぜか1年生で部長をすることになり、新聞作りができるものかと不安でいっぱいでした。

しかし、その不安を解消できたのは、担当の先生方の抜群の行動力と、前年度も広報部長として経験のある方々がおられ、率先して動かれて色々なことを、教えていただいたことです。また、個人的には、5

し、「さわちゃん」「ほめ太郎くん」「ちびろう」のキャラクターが誕生し皆に親しまれています。

広報部としての活動

PTA新聞は、5月下旬に発行する「特別号」、各学期末に発行する1号

連載コーナーについて

できない場合は、取材や写真提供、原稿執筆などを分担してもらい、皆で制作できるように工夫しています。

〇くしよMAP

年度最初に発行される

読んで楽しい、作って楽しい！ 交流が深まる「夢限」を目指して

串木野養護学校 PTA広報部長 高崎 亜紀子

から3号の計4回発行しています。編集会議は、各号につき、2〜3回行っており、企画立案や原稿の依頼、レイアウトのラフ案作成や取材等の人員割り当てなどを行っています。編集会議に出席

特別号です。内容は、新入生の写真やPTAの新しいメンバーなどの紹介、先生方の写真入りの校舎配置図になっています。学校の敷地が広大で寄宿舎もある学校で、全職員が140人と多いため、地域にある本校では防災

より良い広報誌を作るために

本校の「夢限」の記事のほとんどは、編集会議での雑談からテーマやアイデアが生まれてきました。小・中・高3学部の保護者が集まる広報部会では、保護者にとっては大事な情報交換の場であり、そこで出来た記事が会員同士の情報交換や交

への関心が高く、実際に居住地域の市役所に取材をして各市町村の情報をまとめた「防災特集」は、日頃からどのような準備や心構えが必要かについて考える良いきっかけになったと好評をいただくことができました。



月に「県PTA広報紙担当者研修会」に参加したことで、知りたいことをテーマにして、楽しく読まれる新聞を楽しく作るための大切さを知ることが出来たことは、とても

第1回広報部会で、学年単位で紙面を担当することが決まり、それぞれどんなことが知りたいのか意見を出し合いました。新年度ということもありすべての職員の方々が

間を共有して、一つの物を作り上げる作業を体験できて本当に良かったです。なかなか他の学年の方や先生方とお話する機会も無いので、作業中のおしゃべりは、知らないことを新しく知ることが出来たり、質問したりと本当にこの役をして良かったなと思えました。

を眺めていると、気持ちがほっとします。学校から見える景色が大好きになりました。好きな場所が増えたことに感謝。新聞作成にご協力いただいた皆さん、先生方に心か

ら感謝いたします。これからも、作る側も読む側も楽しい新聞作りを引き継いでいけたらと思います。ありがとうございます。

楽しく出来た広報紙作り

錦江湾高等学校 PTA広報部長 高橋 眞由美

いよいよ新聞を作る

2回発行し、紙面は4面カラーで作成しています。広報部員は1年生3人、2年生3人、3年生4人の計10人と担当の先生2人です。

良かったと思います。良かっと思えます。例年PTA新聞は、年面カラーで作成しています。広報部員は1年生3人、2年生3人、3年生4人の計10人と担当の先生2人です。

まで、顔と名前がわかるようなレイアウトで最近のお気に入りなど二つの質問を伺った職員紹介は、1学年と先生方で担当しました。

センスの良い印刷屋さんにも助けられ、実際に完成した新聞を手にした時は本当にうれしく、感動しました。

部員も、先生方も、日々忙しい毎日の生活を送られています。貴重な時間が

が抜群なのです。毎回、景色が少しずつ変わるので、景色



レイアウトはとっても楽しい作業でした